

道路空間を活用した EV路上カーシェアリング社会実験 第1回協議会

EV路上カーシェアリング社会実験の内容について

令和6年2月

近畿地方整備局 大阪国道事務所

1. 社会実験の背景

- 社会実験において、EV路上カーシェア社会実験により社会受容性等を把握し、今後の水平展開により、環境負荷軽減を目指す

【社会実験目標】:路上におけるEVカーシェアの社会受容性やカーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性把握

■社会実験での取組概要(案)

- ・民間事業者を公募し、EV車でのカーシェアリングを実施



×



▲路上カーシェアステーションの整備事例
(東京都港区新橋)

▲EV充電機器の整備事例
(横浜市青葉区)

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指した「道路におけるカーボンニュートラル推進戦略」にあった取組を推進

①道路交通の適正化

②低炭素な人流・物流の転換

⇒新たなモビリティ・公共交通等、低炭素な交通手段の利用促進

③道路交通のグリーン化

⇒次世代自動車の普及

⇒道路空間における発電・送電・給電・蓄電の取組

④道路のライフサイクル全体の低炭素化

▲道路分野のカーボンニュートラル推進戦略の4つの柱

(出典)道路におけるカーボンニュートラル推進戦略 中間とりまとめ(国土交通省 R5.9)

■検証イメージ

- ・EVカーシェアの社会受容性:カーシェア利用者数、歩行者や自動車交通への影響評価 等
- ・カーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性:今後の利用意向、他交通モードでのアクセス性評価 等

社会実験の狙い

- ・路上でのEVカーシェアリング導入による**環境負荷軽減(カーボンニュートラル)**
- ・**交通利便性向上の強化** ⇒**利用者が交通を選択しやすい環境構築**

▶京阪神都市圏での水平展開を目指す

2. 社会実験の目的・概要（1/2）

目的

道路分野におけるカーボンニュートラルの取組みとして、JR大阪駅など鉄道駅周辺の国道2号の路上にEVカーシェアリングステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアの組み合わせによるCO2排出の削減等や、交通利便性向上、災害時の有効活動の検証を行います。

実験概要

○実験期間: 令和6年10月～令和7年12月末(予定)
※実験期間は、延長する場合がある。

○実験箇所: おおさか きた うめだ ふくしま 大阪府大阪市北区梅田・福島区福島
国道2号の道路上3箇所
※さらに上記3箇所の近傍で2箇所追加する予定です。

○運営車両: 電気自動車 車種: 小型自動車又は軽自動車
(道路運送車両法に基づく)

○運営方式: ラウンドトリップ方式*

○運営時間: 0:00～24:00(24時間)

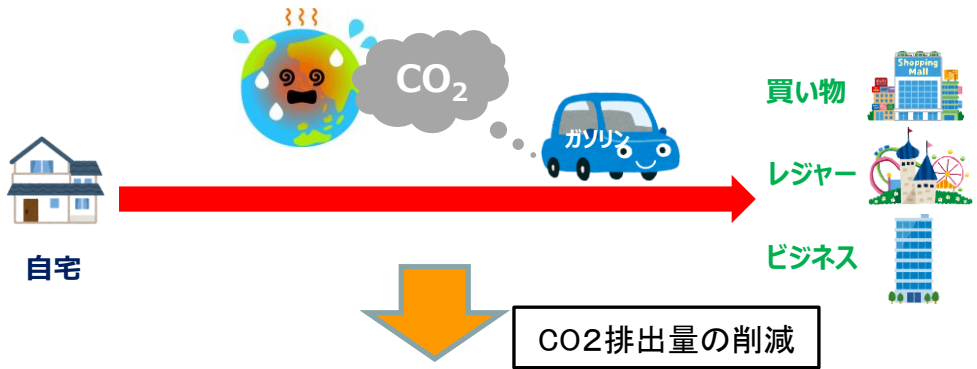
○実験主体: 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング
社会実験協議会
(国交省、大阪府警察本部、大阪市、実験参加者、
梅田2丁目振興町会、西阪神桜橋商店会、福島連合町会)

○実験参加者: タイムズモビリティ株式会社

*車を借りた場所と返す場所が同じ方式

レール×EV路上カーシェア

従来



EV路上カーシェアリング



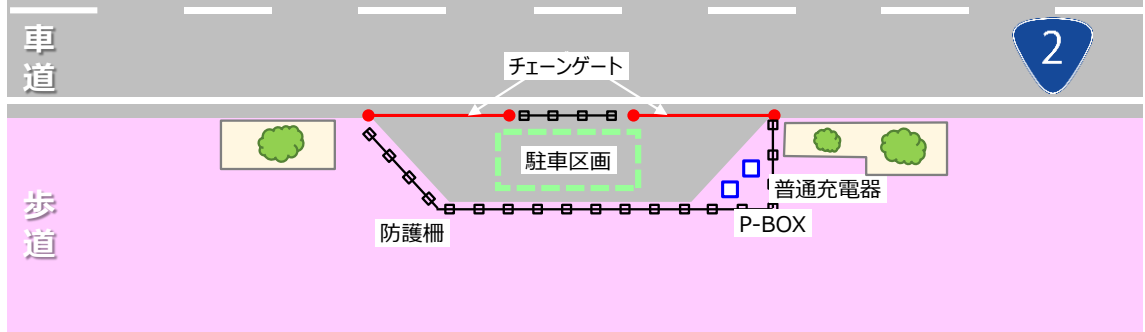
2. 社会実験の目的・概要 (2/2)

位置図

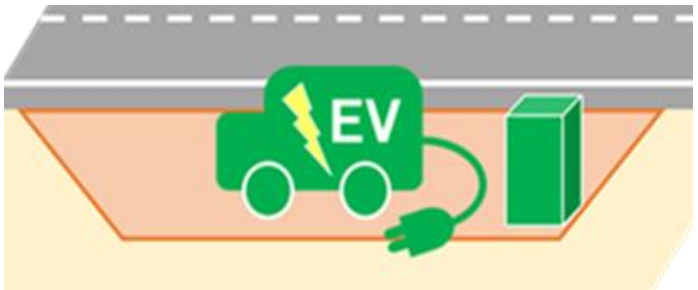


※上記3箇所の近傍で2箇所追加する予定です。

配置イメージ

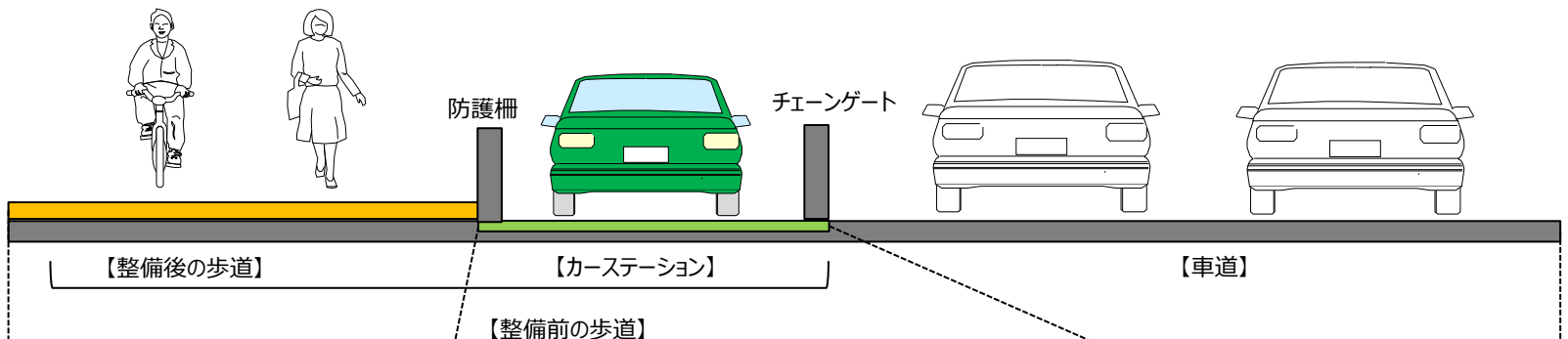


設置イメージ



3. 効果の評価(案)について (検証項目の体系)

- EVカーシェアステーションの導入による社会受容性等を把握するための検証項目を設定
- また、EVカーシェアステーションの設置により、道路空間が再編されることも考慮し、安全性・快適性については、車両の観点だけでなく、歩行者/自転車の観点からの検証を行う。



道路空間		歩道	EVカーシェアステーション(ST)	車道
道路構造		幅員狭小	新規設置	変更なし
検証項目	■基本事項		①利用者属性・行動特性等の把握	
	■道路上にSTを設置する必要性		②カーボンニュートラル、交通利便性向上の機能 ③道路上へ設置することの有効性	
	■STに必要な整備、施設の設置計画・設計に係る留意事項	④-2STの安全性・快適性 (歩行者/自転車の観点)	④-1STの安全性・快適性 (車両の観点)	④-1STの安全性・快適性 (車両の観点)
	■その他 (運営、災害時の活用等)		⑤STに設置した設備・施設等の妥当性 ⑥利用者の拡大、路上STの継続性、災害時の活用	

3. 効果の評価(案)について (検証項目と手法)

事業者提供データの他、アンケート調査、モニタ調査・ビデオ撮影等を組合せながら効果検証を実施

【検証事項】	【分析等の視点】	【検証項目と手法(案)】		
■基本事項	①利用者属性・行動特性等の把握	・利用人数、OD	(事業者提供データ)	
		・利用者の属性、利用目的、利用先、利用のきっかけ、公共交通機関(鉄道/バス)の利用 他	(アンケート)	
■道路上にSTを設置する必要性	②カーボンニュートラル、交通利便性向上の機能(公共交通機関との連携)	・道路分野でのカーボンニュートラル(環境負荷軽減)に関する取り組み	(アンケート)	
		・CO2排出削減量の検証(予測検討)	(データ等から検証)	
		・公共交通機関(鉄道/バス)と組み合わせたST利用実態の確認	(アンケート)	
		・公共交通機関(鉄道/バス)との連携の確認【実験参加者提案】	(事業者提供データ)	
	③道路上へ設置することの有効性	・他のSTとの利用者数の比較	(事業者提供データ)	
		・道路上へのST設置の評価(設置数、立地等)	(アンケート)	
		・道路上STの増設ニーズの確認	(アンケート)	
		・複数人の乗車ニーズの確認	(アンケート)	
		・利用目的の確認(路外駐車場との関連、目的の多様性)	(アンケート、事業者提供データ)	
		・多様なモビリティの有効性の確認(キックボード、自転車、カーシェア他)	(アンケート、事業者提供データ)	
■STに必要な整備、施設の設置計画・設計に係る留意事項	④-1STの安全性・快適性(車両の観点)	・ST形状の出し入れのしやすさの確認	(アンケート)(モニタ調査)	
		・ST入出庫時のヒヤリ経験の確認	(アンケート)(モニタ調査)	
		・道路利用者から見たST入出庫時の影響確認	(アンケート)	
		・実験車両入出庫時の車両相互の接触機会 ※ST入出庫時における運営車両の停車位置確認	(ビデオ撮影)	
		・車道の走行性の変化 ※ST入出庫時における第1車線交通流の影響確認	(ビデオ撮影)	
	④-2STの安全性・快適性(歩行者/自転車の観点)	・歩行者動線の阻害 ※歩行者/自転車の安全性への影響確認(歩道幅員縮小の影響)	(ビデオ撮影)	
		⑤STに設置した設備・施設等の妥当性	・充電機器の使いやすさ・設置位置	(アンケート)
	・設置すべき施設ニーズの確認		(アンケート)	
	■その他(運営、災害時の活用等)		⑥利用者の拡大、路上STの継続性、災害時の活用	・路上カーシェア利用のきっかけの確認
		・運営方式(ラウンドトリップ方式)の確認		(アンケート)
・運営事業者から見た課題(運営体制、保守点検、トラブル等)		(事業者提供データ)		
・災害時の活用(公共交通機関の補完)		(モニタ調査及び上記データ等から検証)		

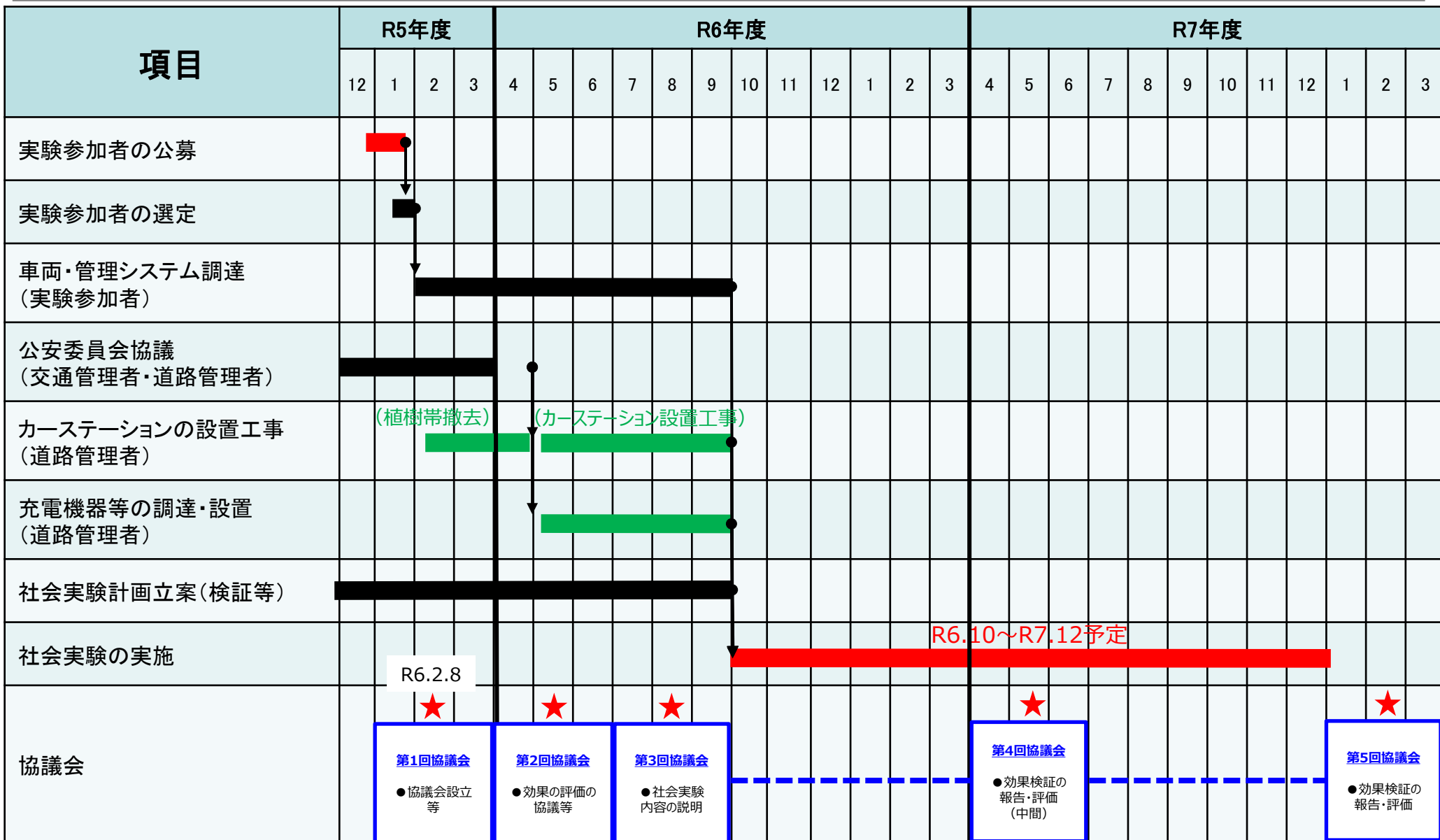
4. 実験参加者の提案内容について

- カーボンニュートラル、交通利便性向上の推進
 - 鉄道事業者との連携企画

提案内容	実施開始時期 実施形態	実施事例
<p><u>EV路上カーシェアリングの告知活動</u></p>	<p>鉄道事業者と 社会実験開始 までに協議</p>	 <p>▲JR西日本との取組事例</p>
<p><u>EV路上カーシェアリングを利用した 会員に鉄道事業者でのポイント等の 特典を付与</u></p>	<p>鉄道事業者と 社会実験開始 までに協議</p>	 <p>▲JR西日本とのポイント特典に関する取組事例</p> <p>※現在、JR西日本とのキャンペーンは終了しています。</p>

5. 今後の予定（全体スケジュール(案)）

➤ 令和6年10月から社会実験を実施することを目標に策定



5. 今後の予定（協議会の議事事項(案)）

■協議会の議事事項(案)

	時期	議事次第(案)
第1回	R6.2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会設立 ・社会実験の概要等の説明 ・今後のスケジュール
第2回	R6.5頃	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回協議会における主な意見と対応 ・EVカーステーションの構造・安全対策の説明 ・工事進捗状況の説明 ・効果の評価における検証項目等の協議
第3回	R6.8頃	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回協議会における主な意見と対応 ・工事進捗状況の説明 ・社会実験内容の説明
第4回	R7.5頃	<ul style="list-style-type: none"> ・効果検証の報告・評価(中間) ※関係機関に適宜情報共有・意見聴取を予定
第5回	R8.2頃	<ul style="list-style-type: none"> ・効果検証の報告・評価

(R6.10～R7.12)
社会実験の実施